

2024.12.6



左上から時計回りに

八寸皿 沖縄県壺屋／四寸小皿 鳥取県牛ノ戸／染分五寸皿 鳥取県牛ノ戸／スリップウェア角皿 島根県布志名／
エッグベーカー 島根県湯町／飛鉋六寸皿 福岡県小石原／角皿 鹿児島県苗代川／平茶家 鹿児島県苗代川／
とくさ文蓋付飯茶碗 愛知県瀬戸／麦藁手蓋付飯茶碗 愛知県瀬戸

おいしい民窯 ー食のうつわ

2025年1月11日[土]ー5月25日[日]

開館時間： 午前9時30分ー午後5時

休館日： 月曜日（1月13日、2月24日、5月5日は開館）

主催： 豊田市民芸館

共催： 中日新聞社

会場： 第1・第2民芸館

観覧料： 一般500円 高校生・大学生300円

中学生以下無料（要証明）※

※その他の減免については当館HPをご確認ください。

展示概要

「民窯（みんよう）」とは、日々の生活のなかで使う器や道具などを焼く窯、またはそのやきものの自体を指します。日本民藝館の創設者・柳宗悦（1889～1961）は「普段使い」「下手物」といわれるものの美しさを具体的に示すために、皿や碗（椀）などの食の器を取り上げて紹介しました。また、柳家の食卓では、民藝運動を共に牽引した盟友・河井寛次郎や濱田庄司によるうつわが使われていました。

今回の展示では、愛知県の瀬戸焼をはじめとした全国の民窯のやきもの、河井・濱田による食のうつわや日本民藝館展の入選作品を中心とした現代の職人の手仕事によるものまで、当館が所蔵する食にまつわるやきものを紹介します。

展示点数：約200点

展示構成

第1民芸館：沖縄、九州、四国、中国地方の民窯

第2民芸館：近畿、中部、北陸、関東、東北地方の民窯

関連企画**●特別展示「とよたの旬を、民窯のうつわに盛って」**

協力：豊田市農産物ブランド化推進協議会

豊田市内の地産地食応援店の協力で広報とよた「旬レシピ」コーナーで使用了当館所蔵の民窯のうつわを紹介

●記念講演会「瀬戸本業窯のこれまでとこれから」

日時：2025年2月22日（土）午後2時～3時半

講師：水野雄介氏（瀬戸本業窯 八代目半次郎後継）

聴講：無料（ただし会期中の観覧券提示必要）

定員：先着50名程度（事前申込み不要）

●民窯のうつわ販売

販売予定：瀬戸本業窯（愛知）出西窯（島根）久高民藝店（沖縄）

お問合せ

豊田市民芸館 〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町波岩 86-100

HP：<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>

e-mail:mingei@city.toyota.aichi.jp

Tel:0565-45-4158

Fax:0565-47-4007

・ 展覧会に関すること

学芸担当：深田

・ 掲載、広報画像のご依頼

庶務担当：佐敷

「おいしい民窯-食のうつわ」広報用画像について

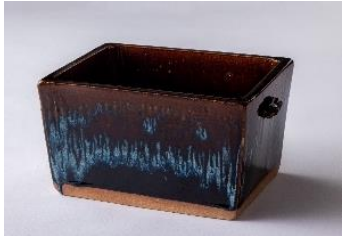
画像等の資料をご希望の方は以下を記入のうえ、Faxまたはe-mailでお送りください。

Fax:0565-47-4007

e-mail:mingei@city.toyota.aichi.jp

お名前	様
ご所属	
Tel	
Fax	
e-mail	
掲載紙／メディア名	
発売、放送予定日（雑誌の場合は〇月号）	
必要な画像等の番号	
必要な鑑賞券枚数（最大5組10名分）＊	枚
鑑賞券の送付先＊	〒

＊読者プレゼントのため等、希望する場合のみご記入ください

1 	2 	3 
4 	5 	1. 左：とくさ文蓋付飯茶碗、右：麦藁手蓋付飯茶碗 愛知県瀬戸 2. エッグベーカー 島根県湯町 3. 抱瓶 沖縄県壺屋 4. 鉢鉢 福島県会津本郷 5. 左上から時計回りに 八寸皿 沖縄県壺屋／四寸小皿 鳥取県牛ノ戸／染分五寸皿 鳥取県牛ノ戸／ スリップウェア角皿 島根県布志名／エッグベーカー 島根県湯町／ 飛鉋六寸皿 福岡県小石原／角皿 鹿児島県苗代川／平茶家 鹿児島県苗代川／ とくさ文蓋付飯茶碗 愛知県瀬戸／麦藁手蓋付飯茶碗 愛知県瀬戸

画像の使用には以下の点にご注意ください。

- ・作品写真の文字のせはご遠慮いただき、キャプションを表記してください。
- ・ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。
- ・情報掲載後、情報公開後の報告をお願いします。
- ・本展の紹介でのご使用後は、各メディアの責任のもと画像データを削除破棄してください。

豊田市民芸館使用欄

画像提供の依頼日

年 月 日

☐画像送付

☐校正

☐修正

☐配信・配本